

特集 山をあそぶ

いろいろな形の山神碑。今回は自然石を彫った山人の気分を追って「張拓」を作ってみました。ハリタク？ あまりなじみのない言葉ですが、魚や石碑の表面の凹凸を墨で写し取る拓本を応用して、直接対象物に和紙を貼って抜き型をとるといったものが、東北工業大学名誉教授の松山正将氏が考案しました。

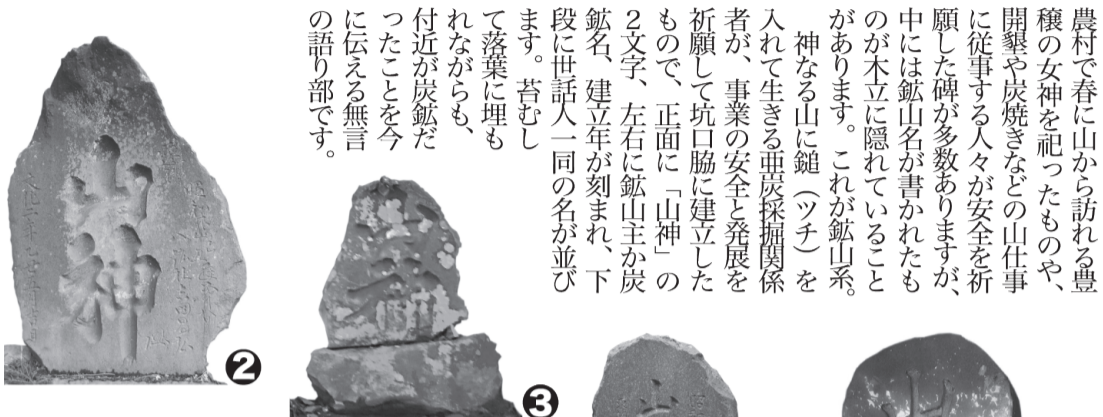


山神碑を探して♡

山を歩くといろんな出会いがありますが、亜炭マニアにとって最高のレアアイテムが「鉾山系山神碑」。ただよう炭鉾の気配を感じつつも向けた視線の先にコレがあったら、もうたまりません。よく見るとなかなかキュートな山神碑、とくとご覧あれ。

祈る形いろいろ

昔からの街道や山道のかわらにちよこんとたたく「山神」と書かれた石碑を見たことありませんか。山型の巨石にダイナミックな筆文字を彫り込んだものや、丸い自然石に文字が小さく刻まれたものが、静かに行き交う人を見守ります。仙台地方には、平野部の



山神碑見たい目ランキング

- 1 千代炭鉾**
無加工自然石系。銘は「昭和18年10月15日建之。千代鉾山主 木田新重郎」。
- 2 八紘社炭鉾**
別の場所にあった文化2年建立の碑を昭和24年に八紘社主 吉田昌弘氏が移設。
- 3 亀岡炭鉾**
亀岡八幡宮下の石段脇に鎮座。裏面に世話人名などが30人。
- 4 東拓炭鉾**
「昭和18年12月吉日、東拓炭鉾株式会社」。脇に小さな像が祀られている。
- 5 木田鉾業所 八木橋坑**
昭和41年5月、閉山にあたって経緯と由来を記す。これも鉾山主は木田新重郎氏。

地元史の案内役として

山神碑は、江戸から昭和にかけての地域史を知る上でとても貴重。新たに見つかれば、今では場所と名称の照合が難しくなった鉾山の追跡作業の有力な資料となります。また、慶応元年に建立された三居沢上流（東北大学馬術部向かい）

の碑のように、鉾山銘はなくても世話人の苗字が明治期の埋木業者名と複数重複していたりすれば、明治以降の資料との橋渡しになります。今もお供え物があるところが多く、地元の方に守られながら静かな余生を送っています。

「張拓」ってなんだ!?

今回「標的」になったのは、竜ノ口溪谷を見下ろす旧黒湯炭鉾の山神碑。裏には「亜炭山」明治三十四年九月十九日/大泉兵吉」と掘られた鉾山系山神碑「亜炭山」と記されたものは他に見当たらないという名品です。仙台在住の三原征郎さんのご



和紙製、張拓山神碑!

案内で現地に入り、薄めた木工ボンドでちぎった和紙をていねいに貼り、数日後に見に行くと見事真っ白な「張拓山神碑」が出来ていました。縁に少し切り込みを入れて服を脱がすようにはぎ取り、再び切れ目をふさいで着色すれば完成です。

① 土地の起伏を読む

坑口は、少ない労力で炭層に達するように崖の露頭や沢の奥などに作られることが多い。土地の起伏と炭層の標高を照合し、位置を絞る。

② 平場と積み出し道をさがす

掘り出された亜炭は、坑口外の平場に建つ選炭場でズリを取り除いたあと、市内へ出荷される。その平場と積み出し道跡があれば、そこが炭坑だった可能性がある。住民の証言、当時の空撮写真なども特定の強い見方。

③ 手掘りの丸天井を愛でる

閉坑から半世紀経った今、坑口は見つかったとしても、坑道上部の手掘りの丸天井が少し露出している程度。下草や落ち葉等の下に丸天井の気配を感じ取り、そこにかつての人々のうごめきを見出す。

④ 小さい穴は通気孔

坑口は人が入れる大きさだが、それとは別に坑道には循環送風用の通気孔や竪坑も作られる。近くに小さな穴があれば通気孔の可能性が高い。

亜炭式 風景鑑賞術

“亜炭目”で山を見て♡

人と山の関わりを感じとるワザ



「亜炭目」で見れば、ここに穴が2つあるって…

森の起伏や道の傾斜、採掘の痕跡などから、かつてそこを行き来した坑夫達の身体さばきを読み取る視線を「亜炭目（あたんめ）」といいます。歩くだけなのに、何もないところに風景を蘇らせる鑑賞術、マスターしてみては?



毎年秋には山神祭

各炭鉾では、毎秋（10月12日前後が多い）に山神祭を行なって、大山祇神（おおやまつみのかみ）を祭神として作業の安全を祈ります。若瀬炭鉾のように多くの社員を持つ炭鉾(上)では、神事の後に運動会や宴会も用意され、多に親睦を深めたといひます。

展覧会予告

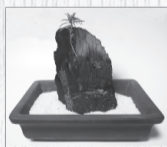
まつの香古学

山のひかり川のほし

2015年 8月8日~18日

月刊 亜炭盆栽

2015年4月創刊号



仙台ならではの
新ジャンル

始めませんか

亜炭盆栽

山で拾える！
水持ちがよい！
土壌改良成分がある！
竜ノ口溪谷に見立てる！

亜炭と溪谷社

亜炭交通社 春のキャンペーン

埋もれ路ハイク



青葉山 生活古道

亜炭穴つき

峠を越え沢を渡って往来した人々が刻んだ山の道。今や草におおわれて見る影もないそんな「埋もれ路」をたどって歩けば、往時の生活地図が見えてくる。生活史を足裏で感じ取るハイキング！

これらのツアーは架空につき応募はご遠慮ください。地名はすべて実在ですが私有地等を含むために実際に立ち入ることは出来ません。他にも生活古道ツアー多数。上記代金は1名様ご利用の場合の金額です。出発日は本広告掲載日の前週の予約状況に基づいて掲載しているため、最少参加人数に満たない場合は中止となる場合がございますのであらかじめご了承ください。くわしい旅行条件書面をお送りいたしますので、事前にご確認の上お申し込みください。ATAM TRAVEL 亜炭交通社